

生誕百年

映画女優 田中絹代

N

F

C

NFC CALENDAR

大ホール(2階)

生誕百年 映画女優 田中絹代(1)

Film Actress Kinuyo Tanaka at her Centenary [Part 1]

2009年10月6日(火)～11月15日(日)

※10月9日(金)～11日(日), 16日(金)～18日(日)の2回目は弁士・伴奏付き無声映画の上映(特別料金)となります。

※10月24日(土)はユネスコ「世界視聴覚遺産の日」(10月27日)を記念する特別イベントを開催します。「生誕百年 映画女優 田中絹代」の上映は行いません。

※「生誕百年 映画女優 田中絹代(2)」は11月17日(火)から12月27日(日)までの開催となります。

10～11月の休館日:

月曜日、9月28日(月)～10月5日(月)

大ホール

開映後の入場はできません。

定員=310名(各回入替制)

料金=一般500円／高校・大学生・シニア300円／小・中学生100円／

障害者(付添者は原則1名まで)は無料

10月9日(金)～11日(日), 16日(金)～18日(日)は定員301名(各回入替制)、また弁士・伴奏付き無声映画上映の入場料金は下記の通りです。
料金=一般1,000円／高校・大学生・シニア800円／小・中学生600円／
障害者(付添者は原則1名まで)は無料

発券=2階受付

- ・観覧券は当日・当該回のみ有効です。
- ・発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締め切ります。
- ・学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は、証明できるものをご提示ください。
- ・発券は各回1名につき1枚のみです。



東京国立近代美術館フィルムセンター

National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo



田中絹代
生誕100年

2009
10-11

NFCカレンダー
2009年10-11月号

大ホール 上映作品

生誕百年
映画女優 田中絹代(1)
Film Actress Kinuyo Tanaka
at her Centenary [Part 1]

本年11月29日は映画女優・田中絹代(1909-77)生誕百年の記念日にあたります。絹代が弱冠14歳で松竹キネマに入社したのは、日本映画に本格的な職業女優が現れて間もない1924年のこと。可憐な娘役で人気を集め、スター第1号・栗島すみ子に次ぐ同社の看板女優へと急成長した彼女は、以来常に第一線で50年以上に及ぶキャリアを積み上げることになります。国産の土橋式トーキー第1作『マダムと女房』(1931年)や空前のヒット作『愛染かつら』(1938-39年)、戦中の『陸軍』(1944年)、戦後の『西鶴一代女』(1952年)など、歴史的名画の数々に彩られた田中絹代のフィルモグラフィーは、そのまま日本映画の歩みと重なり合うものといつても過言ではありません。

企画では全体をこの第1部と、11月17日から12月27日までの第2部に分けて、現存する初期の無声映画から、晩年の64歳でベルリン映画祭主演女優賞を受賞した『サンダカン八番娼館 望郷』(1974年)まで、さらには『恋文』(1953年)など6本の監督作品を含む90本以上の上映を通してその偉大な足跡をたどります。

9月4日より開催中の展覧会「生誕百年 映画女優 田中絹代」とともにお楽しみください。

- 監督・演出 原=原作・原案 脚=脚本・脚色
- 撮=撮影 美=美術・装置 音=音楽 出=出演
- クレジット中の赤字は田中絹代の役名です。
- スタッフ、キャストの人名は原則として公開当時の表記を記載しています。
- 記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。
- 特集には不完全なプリントが含まれています。

◆無声映画プログラム

★印の回は、弁士・伴奏付き上映(特別料金)

I 10/9(金)7:00pm★ 10/13(火)0:30pm

進軍(142分・20fps・35mm・無声・白黒)

飛行士志願の農村青年と丘の上に住む令嬢の恋物語が壮大な戦争劇へとつなげ込む。牛原=伝明=絹代の黄金トリオによる1本で、「蒲田撮影所創設十周年記念特作映画」と銘打たれた本作では、陸軍の協力による大がかりな空中撮影も行われた。長身の伝明と小柄な絹代の組み合わせは、チャールズ・ファレルとジャネット・ゲイナー(『第七天国』などをモデルにしたものであつたという。

'30(松竹蒲田) 山本敏子^{牛原虚彦} 野田高梧^{水谷文二郎} 脇田世根一^{鈴木傳明} 藤野秀夫、鈴木歌子、小林十九二、武田春郎、高田稔、押本映治、横尾泥海男、青山万里子、吉川英蘭、小藤田正一、吉谷久雄、阪本武、渡辺篤



進軍

2 10/6(火)1:00pm 10/17(土)0:00pm

大学は出たけれど【マーヴェルグラフ短縮版】(13分・20fps・35mm・無声・白黒)

小津安二郎が初めてスターを起用した10本目の監督作品で、この年松竹の幹部俳優に昇格したばかりの絹代が高田稔とともに出演。就職に失敗したことを上京した母と若妻(絹代)に伝えられない青年(高田)が、妻の献身的な励ましで無事に職を得るまでを喜劇的に描く。映画の題名は昭和初期の不況時代を示す代名詞ともなった。

'29(松竹蒲田) 町子^{小津安二郎} 清水宏^{荒牧芳郎} 茂原英雄^{高田稔}、鈴木歌子、大山健二、日守新一、木村健児、坂本武

落第はしたけれど

(77分・20fps・35mm・無声・白黒)

大学を卒業しても就職口がないという深刻な社会状況を背景に、学生生活をエンジョイする若者たちの行動を描いた作品。『大学は出たけれど』に続いて田中絹代が可憐なヒロインを好演。『ロイドの人気者』(1925年)の影響をはじめ、小津のアメリカ映画への傾倒ぶりも随所にうかがうことができる。

'30(松竹蒲田) 喫茶店の娘^{小津安二郎} 伏見晃^{茂原英雄} 脇田世根一^{齊藤達男}、二葉かほる、青木富夫、若林廣雄、大國一郎、横尾泥海男、関時男、三倉博、横山五郎、月田一郎、笠智衆、山田房生、里見健児

3 10/8(木)0:00pm 10/17(土)3:00pm★

若者よなぜ泣くか

(193分・20fps・35mm・無声・白黒)

牛原=伝明=絹代のトリオによる最後の作品。新しい妻・歌子を迎えることになった内相・上杉毅一とその家族。だが、奔放で享楽的な歌子により上杉家の空気は様変わりしていく。義母と対立する正義漢の長男・茂と古風な次女・梢を伝明、絹代が演じている。

'30(松竹蒲田) 上杉情^{牛原虚彦} 佐藤紅録^{村上徳三郎} 水谷至宏^{西玄三}、藤田光一、矢萩太郎^{藤野秀夫}、鈴木傳明、筑波雪子、吉川満子、野寺正一、大國一郎、二葉かほる、新井淳、山本冬郷、谷崎竜子、宮島健一、堺一二、河村黎吉、小林十九二、川崎弘子、岡田時彦、鈴木歌子、山内光

4 10/7(水)0:00pm 10/15(木)6:00pm

愛よ人類と共にあれ

(181分・24fps・35mm・無声・白黒)

ハリウッド・スター上山草人の帰朝、松竹入社を記念して製作されたオールスター作品。いくつもの会社を東ねる大実業家と母親の違う4人の子供をめぐり、リア王を思わせる物語が展開する。伝明と絹代は父への反発から家を飛び出した次男とその恋人に扮している。

'31(松竹蒲田) 真弓^{島津博司} 朝雲南枝^{村上徳三郎} 桑原昂、長井信一^{脇田世根一}、河野鷹思^{上山草人}、岡田時彦、光喜三子、河村黎吉、吉川満子、高峯秀子、奈良真養、竜田静枝、鈴木傳明、藤野秀夫、野寺正一、水島亮太郎、小林十九二、宮島健一、花岡菊子

5 10/10(土)4:00pm★ 10/14(水)1:00pm

感激時代【パテベビー短縮版】

(19分・18fps・35mm・無声・白黒)

ハリウッド帰りの牛原虚彦が鈴木伝明とともに生み出した「カレッジもの」の代表作で、恋と友情の板ばさみに悩む青年像が描かれる。絹代は前作『近代武者修行』(1928年)に続く伝明とのコンビで、スターとしての地歩を固めることになった。

'28(松竹蒲田) 美保子^{牛原虚彦}畠耕一^{吉田百助} 水谷文次郎^{鈴木傳明}、三田英児、松井千枝子、横尾泥海男、小林十九二、齊藤達雄

金色夜叉(101分・18fps・16mm・無声・白黒)

明治期以来くり返し映画化されてきた「金色夜叉」の一つで、松竹では1922年の岩田祐吉と栗島すみ子の主演作品に次ぐ再映画化。直前に起きた蒲田の三大スター・鈴木伝明、岡田時彦、高田稔の退社を補うため下加茂撮影所から林長二郎(長谷川一夫)が招かれ現代劇初出演。田中絹代との顔合わせが評判を呼んで大ヒットとなった。

'32(松竹蒲田) 鳴沢宮^{野村芳亭} 尾崎紅葉^{川村花菱}、松崎博臣^{長井信一} 脇田世根一^{林長二郎}、八雲恵美子、岩田祐吉、川田芳子、新井淳、鈴木歌子

6 10/7(水)4:00pm 10/18(日)1:00pm

青春の夢いまいづこ

(102分・20fps・35mm・無声・白黒)

かつての学友が社会に出て若社長と社員という皮肉な関係に立たされる。絹代扮するペーカリーの看板娘をめぐって友情は描れる。小津が『落第はしたけれど』などの学生もの描いてきた屈託のない世界から脱して、サラリーマン社会の冷たい現実にも迫った一篇。

'32(松竹蒲田) ベーカリーの娘お繁^{小津安二郎} 野田高梧^{茂原英朗} 江川宇礼雄、斎藤達雄、武田春郎、水島亮太郎、大山健二、笠智衆、坂本武、飯田蝶子、葛城文子、伊達里子、二葉かほる、花岡菊子

7 10/6(火)4:00pm 10/18(日)4:00pm★

恋の花咲く 伊豆の踊子

(124分・18fps・35mm・無声・白黒)

可憐な伊豆の踊子と東京から来た学生の間に芽生えた淡く純粋な恋。川端康成による同名小説の最初の映画化で、その後も各映画会社が時のアイドルをヒロインに据えて繰り返しリメイクを作ることになった。旅芸人になりきるため撮影の合間に太鼓を離さなかったという絹代は本作で「私自身の映画観、あるいは芸というものに対する考え方」変わったと語っている。

'33(松竹蒲田) 踊子^薰 五所平之助^{川端康成} 伏見晃^{小原讓治} 金須孝、木村宣郎、秋田良之助^{大日方傳}、小林十九二、若水絹子、高松栄子、兵藤静江、新井淳、竹内良一、河村黎吉、水島亮太郎、坂本武

8 10/11(日)4:00pm★ 10/15(木)1:00pm

非常線の女(120分・20fps・35mm・無声・白黒)

小津安二郎監督の和製ギャング映画。暗黒街の男と女が、与太者とその可憐な姉を救うため犠牲をはらう。絹代が得意とした純情可憐な娘役から一転、星は眞面目なタイプスト、夜はギャングの情婦という役どころに扮しているのも見もの。

'33(松竹蒲田) 時子^{小津安二郎} ジームス横^{池田忠雄} 茂原英朗^{脇田世根一} 岡譲二、水久保澄子、三井秀夫、逢初夢子、高山義郎、加賀晃二、南條康雄、谷麗光、竹村信夫、鹿島俊作、西村青児

9 10/8(木)4:00pm 10/16(金)7:00pm★

晴曇(125分・20fps・35mm・無声・白黒)

久米正雄の連載小説をもとに、オールスターで製作された野村芳亭監督の大作メロドラマ。競技場につめかけた大観衆や、恋の勝者となった黒田(大日方伝)と幸子(栗島すみ子)の披露宴などのスペクタクル・シーンも見もの。絹代は黒田の子供を孕む悲劇のヒロイン、房子を演じている。

'33(松竹蒲田) 川原房子^{野村芳亭} 久米正雄^{柳井隆雄} 長井信一^{岡譲二}、大日方伝、栗島すみ子、吉川満子、藤野秀夫、坪内美子、葛城文子、竹内良一、江川宇礼雄、奈良真養、武田春郎

◆トーキー映画プログラム

10 10/10(土)1:00pm 10/15(木)4:00pm 11/13(金)1:00pm

花嫁の寝言(57分・35mm・白黒)

新妻の甘い寝言を聞くこと、新婚夫婦の家庭に悪友たちが押しかけるという喜劇。土橋式トーキー第1作の『マダムと女房』(1931年)で絹代独特の鼻にかかった甘いエロキューションが評判となつたことから企画された一篇。題名のエロティズムも手伝い大ヒットとなつた。

'33(松竹蒲田) 花嫁・春子^{五所平之助} 岡譲二^{柳井隆雄} 長井信一^{木村宣郎}、星野武^{小林十九二}、齊藤達雄、江川宇礼雄、大山健二、谷麗光、逢初夢子、龍田静江、水久保澄子、藤田房子、飯田蝶子、河村黎吉、高山義郎、坂本武

11 10/11(日)1:00pm 10/14(水)4:00pm

應援団長の恋(78分・35mm・白黒)

野村浩将監督のトーキー第1作で、当時「相当トーキーをこなしている」と評価された。大学の応援団長・塙本(岡)と下宿の娘・お美津(田中)は仲が良かったが、ある日、塙本はピッチャー宮嶋(江川)の家で出会つたアヤ子に心魅かれる。絹代は本作公開直前の昇格式で大幹部待遇に推進されている。

'33(松竹蒲田) お美津^{野村浩将} 野村高梧^{高橋與吉} 穂村貞次^{岡譲二}、江川宇礼雄、逢初夢子、澤蘭子、若水照子

12 10/6(火)7:00pm 10/31(土)11:00am

婦系図(135分・16mm・白黒)

お薦に絹代、主税に岡穂二を配した最初の映画化。野村芳亭が監督した唯一のトーキー作品となった。「湯島境内の場などは、キャメラはすえつ放しで、あの長丁場をお薦と主税が済元の出語りに合わせて、行ったり来たりしての大熱演に驚いた」(岸松雄)。

'34(松竹蒲田)お薦[○]野村芳亭[○]泉鏡花[○]陶山密[○]水谷至宏[○]脇田世根一[○]高階哲夫[○]岡嶺二、小林十九二、吉川満子、飯田蝶子、志賀靖郎、大塚君代、葛城文子、坪内美子、青木しのぶ、河村黎吉

13 10/7(水)7:00pm 10/23(金)4:00pm 11/1(日)11:00am

お小夜恋姿(95分・16mm・サウンド版・白黒)

貧乏小説家が空想の中で作り上げた物語と、物語のモデルとなった娘の恋物語を映画の中で対比させた、島津保次郎脚本・監督のユニークな一篇。前者の純情可憐な娘と、後者のはすばでこましゃくれた現代娘という正反対な役柄を絹代が魅力的に演じ切けるのが、本作の醍醐味となっている。

'34(松竹蒲田)お小夜[○]島津保次郎[○]桑原昂[○]脇田世根一[○]早乙女光[○]山内光、葛城文子、宮島健一、坪内美子、野寺正一、青木しのぶ、河村黎吉、水島亮太郎、高杉早苗、斎藤達雄、小林十九二、結城一朗

14 10/9(金)3:00pm 11/4(水)7:00pm

私の兄さん(69分・16mm・白黒)

すねた弟(林)と富豪令嬢(絹代)の恋、彼が立ち直るのを優しく見守る義兄(河村)たちの人間関係を、島津保次郎がモダンな作風で描いている。同年に封切られた『或る夜の出来事』(フランク・キャプラ監督)の影響も指摘された。絹代と林長二郎は蒲田現代劇で2度目の顔合わせ。

'34(松竹蒲田)須磨子[○]島津保次郎[○]桑原昂[○]脇田世根一[○]早乙女光[○]林長二郎、河村黎吉、鈴木歌子、坪内美子、坂本武、大山健二、石山童兒、赤地重雄、野寺正一、奈良真養、河原侃二、山口勇、小林十九二、南里コンバル、松井潤子

15 10/8(木)7:00pm 11/6(金)1:00pm

男性對女性(132分・35mm・白黒)

複数の恋物語が平行するメロドラマを、オールスター・キャストで描いた松竹の大船撮影所移転記念映画。人気絶頂の絹代は1935年1月に松竹の俳優昇格式で大幹部に昇進。本作では若い人類考古学者(佐分利)への一途な想いを貫く事業家の令嬢・時子を演じている。

'36(松竹大船)藤村時子[○]島津保次郎[○]池田忠雄、猪俣勝人、津路嘉郎[○]水谷至宏[○]金須孝[○]早乙女光[○]藤野秀夫、佐分利信、上原謙、水島亮太郎、吉川満子、磯野秋雄、桑野通子、飯田蝶子、河村黎吉、岩田祐吉、野寺正一、大塚君代、上山草人、斎藤達雄、水ノ江瀧子

16 10/13(火)7:00pm 10/31(土)2:00pm

新道[前後篇](132分・35mm・白黒)

菊池寛の長篇小説を映画化したメロドラマ。両親の反対を押し切って青年と結ばれた令嬢(絹代)は、青年の事故死を知らされた時すでに身ごもっており、青年の弟が彼女とその子供のために結婚する。上原、佐野、佐分利の「松竹三羽鳥」との共演。絹代と川崎弘子が対照的な性格の従姉妹同士——活潑で積極的な妹と古風な姉を演じている。

'36(松竹大船)宗方朱実[○]五所平之助[○]菊池寛[○]野田高梧[○]小原讓治[○]五所福之助[○]福田幸彦[○]川崎弘子、佐野周二、上原謙、佐分利信、斎藤達雄、吉川満子、岡村文子、山内光、大山健二、笠智衆、出雲八重子

17 10/14(水)7:00pm 11/8(日)11:00am

花篠の歌(69分・35mm・白黒)

『新道』に続き五所平之助監督とのコンビで製作された下町情緒もの。銀座裏のとんかつ屋を舞台に、看板娘をめぐる恋の鞘当てがぎやかに展開される。絹代演じるヒロインが片思いを抱く学生には、松竹三羽鳥のひとり佐野周二が扮している。

'37(松竹大船)洋子[○]平之助[○]しょ[○]五所平之助[○]岩崎文隆[○]野田高梧[○]斎藤正夫[○]脇田世根一[○]久保田公平[○]佐野周二、徳大寺伸、河村黎吉、岡村文子、谷麗光、出雲八重子、笠智衆

18 10/13(火)4:00pm 10/31(土)5:00pm

女醫絹代先生(91分・35mm・白黒)

漢方医である山岡家と、外科医の浅野家は先代から犬猿の仲。新たに診療所を開いた山岡絹代と浅野安夫も、互いに魅かれながらもライバル心を燃やして喧嘩ばかりしている…。野村浩将(監督)=池田忠雄(脚本)=絹代(主演)のトリオによる明朗な恋愛喜劇の一本。1930年の『絹代物語』に続き、映画の題名に絹代の名を冠しているところからも、そのネームバリュの大きさをうかがうことができる。

'37(松竹大船)山岡絹代[○]野村浩将[○]池田忠雄[○]高橋通夫[○]周襄吉[○]万城目正[○]佐分利信、坂本武、東山光子、吉川満子、島田富美子、水島亮太郎、谷麗光、大山健二、磯野秋雄、小林十九二、縣秀介、山田長生

24 10/21(水)4:00pm 11/14(土)11:00am

お絹と番頭(73分・35mm・白黒)

足袋商店・福屋の一人娘で勝気なお絹は、若い番頭の「幸どん」(上原)に想いを寄せているが、顔を合わせれば口喧嘩になってしまう。そんなある日「幸どん」は地主の娘との縁談を持ちかけられ、それを知ったお絹はいつもの元気を失い、部屋に閉じこもってしまう…。『愛染かづら』の絹代と上原謙が共演した正月映画。

'40(松竹大船)お絹[○]野村浩将[○]池田忠雄[○]斎藤正夫[○]演田辰雄[○]伊藤宜二[○]上原謙、斎藤達雄、三宅邦子、藤野秀夫、小林十九二、磯野秋雄、阿部正三郎、三井秀男、河村黎吉、坪内美子

25 10/22(木)1:00pm 11/7(土)5:00pm

簪(70分・35mm・白黒)

宿の風呂場で簪を落とした恵美と、その簪で足に怪我をする療養中の負傷兵が、様々な客で賑わうのどかな夏の温泉地で心の明るさを取り戻していく。絹代がする恵美の心の変化が、自然な形で表現されている。

'41(松竹大船)恵美[○]清水宏[○]井伏鱒二[○]長瀬喜伴[○]猪飼太郎[○]浅井舉暉[○]木本勇[○]川崎弘子、斎藤達雄、笠智衆、日守新一、三村秀子、河原侃二、横山準、大塚正義、坂本武、松本行司、油井宗信、大杉恒雄、寺田佳世子

26 10/22(木)4:00pm 11/3(火祝)5:00pm 11/11(水)1:00pm

女醫の記録(95分・35mm・白黒)

無医村へ巡回診療に訪れた夏木女医が、偏見や迷信に惑わされる村民たちに根気強く働きかけ、村の生活に融けこんでゆく。無医村撲滅を主張する啓蒙映画だが、女医と村人たちとの交流が丁寧に描かれ、清水らしい詩情とユーモアがあふれている。

'41(松竹大船)夏木女医[○]清水宏[○]津路嘉郎[○]森田俊保[○]木本勇[○]浅井舉暉[○]森川まさみ、佐分利信、文谷千代子、高松栄子、久保田勝巳、出雲八恵子、武田秀郎、倉田勇助、京谷千恵子

27 10/22(木)7:00pm 11/10(火)1:00pm

日本の母(89分・35mm・白黒)

夫の死後一人でこども5人を育て上げた母みねは、彼らとともに幸せな老後を送ることを夢見るが…。松竹大船のスターが総出演する賑やかなボーマドrama。絹代は嫁ぎ先であるシンガポールの貿易商と仲違いして里帰り中の頑固な娘・夏子を演じている。

'42(松竹大船)夏子[○]原研吉[○]野田高梧、八木沢武孝[○]武富善男[○]木本勇[○]浅井舉暉[○]葛城文子、佐分利信、上原謙、佐野周二、高峰三枝子、三宅邦子、木暮実千代、斎藤達雄、河村黎吉、吉川満子、水戸光子、川崎弘子

28 10/23(金)1:00pm 11/8(日)5:00pm

或る女(95分・16mm・白黒)

当時の戦況など社会的背景が極力控えめに描かれ、数々の辛苦を乗り越えてゆく逞しい女・おしげの生き様に焦点が当てられている。流転する彼女の運命が、渋谷の演出と絹代の演技力により自然な形で描かれ、そのリアルさが評価された。

'42(松竹大船)おしげ[○]渋谷實[○]池田忠雄、津路嘉郎[○]森田俊保[○]濱田辰雄[○]安部威[○]佐野周二、河村黎吉、斎藤達雄、徳大寺伸、木暮実千代、文谷千代子、伏見信子、坂本武、忍節子



女醫絹代先生

29 10/21(木)7:00pm 11/12(木)1:00pm

還って来た男 (67分・35mm・白黒)

川島監督のデビュー作。戦地から帰還したばかりの骨董屋の息子・庄平(佐野)は、美女に出逢うたび心をときめかせ、落ち着きがない。輝く女性たちへの憧れを描いた本作で、絹代は清々しい笑顔でとわけまばゆい初枝を演じている。

'44(松竹下加茂) 小谷初枝[○]川島雄三[○]織田作之助[○]斎藤毅[○]小島基司[○]大澤寿人[○]笠智衆, 佐野周二, 吉川満子, 小堀誠, 文谷千代子, 辻照八, 三浦光子, 草島競子, 日守新一, 山路義人, 坂本武

30 10/23(金)7:00pm 11/3(火・祝)2:00pm

陸軍 (87分・35mm・白黒)

軍の要請により製作された太平洋戦争3周年記念の大作。日本人の愛国心を謳う、数々の戦争と運命をともにした一家の三代記だが、ラストシーンでは、出征する息子を延々と追いかける母・わかの悲痛な思いを絹代が見事に表現し、木下監督の反戦メッセージを浮き彫りにした。

'44(松竹大船) わか[○]木下恵介[○]火野葦平[○]池田忠雄[○]武富善男[○]木本勇[○]笠智衆, 東野英治郎, 上原謙, 三津田健, 杉村春子, 星野和正, 長瀬賛夫, 信千代, 細川俊夫, 佐分利信, 佐野周二, 原保美

35 10/27(火)4:00pm 11/7(土)2:00pm 11/12(木)7:00pm

歌麿をめぐる五人の女 (95分・35mm・白黒)

邦枝完二の小説『歌麿をめぐる女達』を基に、江戸の浮世絵師歌麿と5人の女たちの物語が軽妙なテンポで描かれる。人物のみならず江戸風俗の描写にも力が注がれている。絹代は、恋敵を情容赦なく排除しようとする気性の激しい女・おきたを演じている。

'46(松竹京都) 難波屋おきた[○]溝口健二[○]邦枝完二[○]依田義賢[○]三木滋人[○]木本勇[○]大澤壽人, 望月太明蔵[○]坂東鏡助, 坂東好太郎, 高松錦之助, 中村正太郎, 富本民平, 飯塚敏子, 川崎弘子, 草島競子, 大原英子, 白妙公子

41 10/29(木)4:00pm 11/10(火)7:00pm

我が恋は燃えぬ (84分・35mm・白黒)

女性解放運動の先駆者・影山英子の自伝に基づく本作は、『女性の勝利』や『女優須磨子の戀』と合わせてしばしば溝口の“女性解放3部作”と呼ばれる。地元の岡山で自由民権運動の演説に共鳴し上京する英子の成長が、政府スパイに成り下がる元恋人や新たなるパートナーの自由党闘士との出逢いや別れとともに描かれる。

'49(松竹京都) 平山英子[○]溝口健二[○]野田高梧[○]依田義賢, 新藤兼人[○]杉山公平[○]水谷浩[○]伊藤宣二[○]水戸光子, 三宅邦子, 菅井一郎, 千田是也, 東野英治郎, 小澤栄太郎, 松本克平, 浜田寅彦, 清水将夫, 宇野重吉

30 10/25(日)11:00am 11/10(火)4:00pm

宮本武蔵 (55分・35mm・白黒)

武蔵の精進に力を置く吉川英治の連載小説ではなく、すでに達人となった武蔵を描く菊池寛を原作とした異色作。仇討ちを望む野々宮姫弟との交流を通して、宮本武蔵の武士道を描き出して、一乗寺の決闘後から巣流島での佐々木小次郎との一騎打ちまでがエピソードに含まれている。

'44(松竹大船) 野々宮信夫[○]溝口健二[○]菊池寛[○]川口松太郎[○]三木滋人[○]河原崎長十郎, 中村翫右二門, 生島喜五郎

36 10/27(火)7:00pm 11/11(水)4:00pm

結婚 (85分・35mm・白黒)

失業中の父に代わり家族を支えなければならない文江は、恋人(上原)ともなかなか結婚できない。敗戦後の厳しい社会状況を素材しながらも、「愛染かづら」の名コンビ絹代=上原を活かした華やかなメロドラマ。本作と『女優須磨子の恋』『不死鳥』で、絹代は1947年の毎日映画コンクール女優演技賞に輝いた。

'47(松竹大船) 松川文江[○]木下恵介[○]新藤兼人[○]楠田浩之[○]浜田辰雄[○]木下忠司[○]上原謙, 東野英治郎, 東山千栄子, 井川邦子, 鈴木彰三, 小沢栄太郎, 久慈行子, 村瀬幸子, 岸輝子

42 10/29(木)6:30pm 11/3(火・祝)10:30am

新釋四谷怪談 [前後篇] (158分・35mm・白黒)

貧困のせいで妻・お岩を殺してしまった伊右エ門が、良心の呵責からお岩の亡靈を幻覚に見たとする新解釈の『四谷怪談』。絹代は貞淑な武士の妻・お岩とその妹で元氣の良い下町娘お袖という対照的な二役を巧みに演じている。

'49(松竹京都) お岩, お袖[○]木下恵介[○]鶴屋南北[○]久板栄二郎[○]楠田浩之[○]木本勇[○]木下忠司[○]上原謙, 山根壽子, 杉村春子, 飯田蝶子, 溪沢修, 宇野重吉, 佐田啓二, 玉島愛造, 三津田健, 山路義人, 加東大介, 加藤貫一, 林喜美枝, 宮島安藝男, 大川温子, 大東專太郎, 静山繁男

32 10/25(日)2:00pm 11/13(金)4:00pm

必勝歌 (80分・35mm・白黒)

情報局が募集した愛国歌の一等当選となった「必勝歌」を基にして、溝口健二、田坂具隆、清水宏、マキノ正博が分担して作ったオムニバス映画。特攻隊の死を賛美し、日本人の「愛国精神」を説くプロパガンダ作品。

'45(松竹京都) 子守唄をうたう母[○]田坂具隆[○]清水宏[○]溝口健二, マキノ正博, 大曾根辰夫, 高木孝一, 市川哲夫, 岸松雄[○]竹野治夫, 斎藤毅, 行山光一, 三木滋人[○]堀井治[○]佐野周二, 大矢市次郎, 潤村貞子, 島田照夫, 小杉勇, 三井秀男, 斎藤達雄, 高田浩吉, 潤村アキヲ, 河村黎吉, 高峰三枝子, 聽起子, 上原謙

37 10/28(水)1:00pm 11/6(金)4:00pm 11/15(日)11:00am

女優須磨子の恋 (96分・35mm・白黒)

明治・大正期の新劇運動を率いた島村抱月への、運動草創期の大スター・松井須磨子の恋をテーマにした作品。当時の俳優学校や新劇運動、そして当時の舞台劇が細部にいたるまで再現され、絹代扮する田舎出身の娘が女優になるまでの成長をリアルに描いている。同じ題材で山田五十鈴主演の衣笠貞之助作品『女優』が競作となつた。

'47(松竹京都) 松井須磨子[○]溝口健二[○]長田秀雄[○]依田義賢[○]三木滋人[○]木本勇[○]大澤壽人[○]山村聰, 毛利菊江, 東山千栄子, 朝霧鏡子, 東野英治郎, 岸輝子, 小澤栄太郎, 青山杉作, 佐伯秀男

43 10/30(金)1:00pm 11/8(日)2:00pm

眞晝の円舞曲 (109分・35mm・白黒)

明治十年代の鹿鳴館を舞台とする豪華キャスト作品。古びた洋館に住む死期も間近の鶴代が残したたつた一つの「宝箱」をめぐって、周囲の人々が騒然とする。少女から老婆までを見事に演じた絹代だが、老婆役のために健康な歯を4本も抜いたといふ。

'49(松竹大船) 雨宮鶴代[○]吉村公三郎[○]新藤兼人[○]生方敏夫[○]浜田辰雄[○]吉沢博[○]若原雅夫, 滝沢修, 井川邦子, 佐田啓二, 坪内美子, 吉川満子, 千田是也, 東野英治郎

32 10/28(水)4:00pm 11/7(土)11:00am

不死鳥 (82分・35mm・白黒)

亡き夫の忘れ形見とともに婚家で生きる小夜子が、出会いから交際、応召、たつた1週間の結婚生活、そして夫の戦死を回想する。『結婚』での成功を受け、当初絹代=上原コンビで企画されたが、上原がキスシーンに難色を示したため、佐田が相手役を演じ、華々しい映画界デビューを飾った。

'47(松竹大船) 相原小夜子[○]木下恵介[○]川頭義郎[○]楠田浩之[○]小島基司[○]木下忠司[○]佐田啓二, 小杉勇, 高橋豊子, 山内明, 河崎保, 高松栄子, 村上冬樹, 水上令子, 浜野肇, 長船フジヨ, 大塚紀男, 芳丘直美

44 10/30(金)4:00pm 11/4(水)1:00pm 11/14(土)5:00pm

エングージ・リング 婚約指環 (96分・16mm・白黒)

病弱な夫(宇野)をもつ人妻・典子が若い医師(三船)に惹かれてゆき、やがて大事にしていた婚約指環のことを忘れるようになる…。三島由紀夫が賞讃したことでも知られるメロドラマ。俳優として戦後初めて渡米した田中の帰国第1作で、田中絹代プロの旗上げ作品。

'50(松竹大船)=田中絹代プロ 典子[○]木下恵介[○]楠田浩之[○]森幹男[○]木下忠司[○]宇野重吉, 三船敏郎, 薄田研二, 吉川満子, 増田順二, 高松栄子, 音羽久子

38 10/28(水)4:00pm 11/7(土)11:00am

不死鳥 (82分・35mm・白黒)

亡き夫の忘れ形見とともに婚家で生きる小夜子が、出会いから交際、応召、たつた1週間の結婚生活、そして夫の戦死を回想する。『結婚』での成功を受け、当初絹代=上原コンビで企画されたが、上原がキスシーンに難色を示したため、佐田が相手役を演じ、華々しい映画界デビューを飾った。

'47(松竹大船) 相原小夜子[○]木下恵介[○]川頭義郎[○]楠田浩之[○]小島基司[○]木下忠司[○]佐田啓二, 小杉勇, 高橋豊子, 山内明, 河崎保, 高松栄子, 村上冬樹, 水上令子, 浜野肇, 長船フジヨ, 大塚紀男, 芳丘直美

45 10/30(金)7:00pm 11/15(日)2:00pm

宗方姉妹 (112分・35mm・白黒)

死期を悟った父、おとなしく忍耐強い姉・節子と勝ち気な妹・満里子、姉を疑う病弱な夫と昔の恋人、その青年に思いを寄せる未亡人といった多彩な人間関係が描かれている。絹代は、不機嫌な夫を大事にしながら、昔の恋人への想いを断ち切れない古風な女を演じている。

'50(新東宝) 宗方節子[○]小津安二郎[○]大佛次郎[○]野田高梧[○]小原讓治[○]下河原友雄[○]齋藤一郎[○]高峰秀子, 上原謙, 高松早苗, 笠智衆, 山村聰, 堀雄二, 河村黎吉, 齋藤達雄, 藤原釜足, 坪内美子, 一の宮あづ子, 堀越節子, 千石規子

33 10/25(日)5:00pm 11/4(水)4:00pm

三十三間堂通し矢物語 (76分・35mm・白黒)

(76分・35mm・白黒)

成瀬初の時代劇。時間内に弓矢での射る本数を競う“通し矢”で、星野勘左衛門に記録を破られて自害した父に代わり、大八郎は宿屋の女主人お絹の庇護の下、弓道の修行に励む。厳しい戦況による映画会社どうしの協力が、松竹京都撮影所での撮影、そして絹代と東宝移籍後の長谷川との共演を実現させた。

'45(東宝) お絹[○]成瀬巳喜男[○]小国英雄[○]鈴木博[○]河東安英[○]長谷川一夫, 市川扇升, 河野秋武, 葛城文子, 田中春男, 横山運平, 清川玉枝, 鳥羽陽之助, 澤井三郎, 花澤徳衛

39 10/28(水)7:00pm 11/5(木)4:00pm 11/14(土)2:00pm

夜の女たち (73分・35mm・白黒)

敗戦直後の焼け跡に生きる3人の女の凄惨な生き様を描いた作品。イタリアのネオレアリズモに触発された溝口の演出の下、絹代は、貞淑な一子の母からパンパンの姐御にまで落ちぶれてゆく戦争未亡人・房子役に挑戦し、高い評価を得た。

'48(松竹京都) 大和田房子[○]溝口健二[○]久板栄二郎[○]依田義賢[○]杉山公平[○]水谷浩[○]大澤壽人[○]高杉早苗, 角田富江, 永田光男, 村田宏壽, 渥浦栄子, 毛利菊枝, 富本民平, 大林梅子, 青山宏, 横美佐子

40 10/29(木)1:00pm 11/11(水)7:00pm

風の中の牝雞 (83分・35mm・白黒)

小津の復員後第2作。幼子の急病と入院のためにやむを得ず一夜身を売った妻・時子を、戦地から帰った夫(佐野)が許すまでを描く。『夜の女たち』で好評だった絹代は、溝口とまったく異なる小津の演出にも見事に応え、2年連続で毎日映画コンクール女優演技賞を受賞した。

'48(松竹大船) 時子[○]小津安二郎[○]齋藤良輔[○]厚田雄春[○]濱田辰雄[○]伊藤宜二[○]佐野周二, 村田知英子, 笠智衆, 坂本武, 高松栄子, 水上令子, 文谷千代子, 長尾敏之助, 中川健三, 岡村丈子, 清水一郎, 三井弘次, 手代木國男, 谷よしの, 中川秀人

34 10/27(火)1:00pm 11/13(金)7:00pm

女性の勝利 (81分・35mm・白黒)

(81分・35mm・白黒)

溝口の戦後第1作。絶望のあまり赤ん坊を殺害した朝倉とも(三浦)と、その旧友で彼女の弁護を引き受けた細川ひろ子の姿を通して、封建的思考からの自己の開放、女性の自立を説いた啓蒙映画。

'46(松竹大船) 細川ひろ子[○]溝口健二[○]野田高梧, 新藤兼人[○]生方敏夫[○]木本勇[○]浅井舉暉[○]桑野通子, 三浦光子, 高橋豊子, 徳大寺伸, 若水絹子, 風見章子, 奈良真養, 松本克平, 高橋豊子, 長尾敏之助



夜の女たち

弁士紹介

澤登翠(さわと・みどり)

故松田春翠門下。「伝統話芸・活弁」の継承者として「活弁」を現代のエンターテインメントへと甦らせ、「無声映画鑑賞会」「活弁 in 学生会座」の定期公演、全国各地の映画祭への出演に加え、フランス、イタリア、ドイツ、アメリカなど海外でも多数の公演を行っている。日本映画ベンクラブ賞、文化庁芸術祭優秀賞他数々の賞を受賞。これまでに手がけた無声映画は500本を越える。昨年より失われた映画を現存する写真画像と音楽や語りで再構築する「ロスト・フィルム・プロジェクト」を始める。

伴奏者紹介(50音順)

鈴木真紀子(すずき・まきこ)／フルート

桐朋学園大学音楽学部卒。フルートを峰岸壯一氏に師事。1994年オーストリアとスイスで国際フルートセミナーに参加、ファイナルコンサートに出演。現在、楽団「カラード・モノトーン」や芹洋子のアコースティックバンドのメンバーとして活動。また、NHK放送博物館の室内楽シリーズにレギュラー出演中。

新垣隆(にいがき・たかし)／作曲・編曲、ピアノ

桐朋学園大学音楽学部作曲科卒。作曲を南聰、中川俊郎、三善晃の各氏に師事。楽団「カラード・モノトーン」のメンバーとして澤登翠とともに日本各地をまわる。自身の音楽作品としてはアンサンブル・ジェネシスのための「夏の庭」などがある。桐朋学園大学非常勤講師。

柳下美恵(やなした・みえ)／作曲・編曲、ピアノ

無声映画伴奏者。武蔵野音楽大学器楽科(ピアノ専攻)卒業。1995年、朝日新聞社主催の映画生誕100年記念上映会でデビュー以来、国内外の映画祭などで公演。弁士との共演も多数。紀伊國屋書店クリティカル・エディション・シリーズ『裁かるるジャンヌ』『魔女』の音楽を担当。2006年度日本映画ベンクラブ奨励賞受賞。「ロスト・フィルム・プロジェクト」「フィルム救済プロジェクト」「活動俱楽部」に参加。

湯浅ジョウイチ(ゆあさ・じょういち)／作曲・編曲、ギター

1987年東京国際映画祭でD・W・グリフィスの『国民の創生』の音楽制作・演奏を行って以来、無声映画用の楽団版音楽の復刻と制作に尽力している。楽団「カラード・モノトーン」を結成し、澤登翠をはじめとする弁士とともに全国で公演。又、「ロックギタリストのためのJ・S・バッハ曲集」を出版している。ESPミュージカルアカデミー講師。

お知らせ

第10回東京フィルメックス

ニッポン★モダン1930

～もう一つの映画黄金期～

主催: 松竹株式会社、特定非営利活動法人東京フィルメックス実行委員会

11月21日(土)～11月29日(日)

会場: 東劇

料金: 1,000円均一

お問い合わせ:

東京フィルメックス Info. 03-3560-6394

東京フィルメックス ホームページ: <http://www.filmex.net/>

無声映画からトーキーへ——1930年代松竹作品の上映を通して日本のモダニズムを回顧する特集。あわせて、11月29日(日)に生誕百年を迎える田中絹代の主演作8本(下記)を上映します。

『マダムと女房』(1931年、五所平之助監督)

『東京の女』(1933年、小津安二郎監督)

『春琴抄 お琴と佐助』

(1935年、島津保次郎監督)

『人生のお荷物』

(1935年、五所平之助監督)

『お加代の覚悟』

(1936年、島津保次郎監督)

『愛染かつら』新版総集篇

(1938年、野村浩将監督)

『おぼろ駕籠』(1951年、伊藤大輔監督)

『西鶴一代女』(1952年、溝口健二監督)

* タイムテーブルなど詳細は当該チラシ、東京フィルメックスのホームページをご覧ください。

特別イベント

ユネスコ「世界視聴覚遺産の日」

記念特別イベント

『幸福』特別上映会:

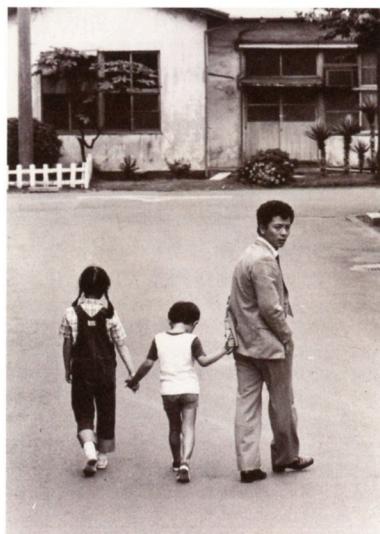
シルバー・カラーの復元

会場: 大ホール

10月24日(土)

ユネスコ「世界視聴覚遺産の日」(10月27日)を記念する特別イベントの第2回目として、フィルムセンターが新たに復元した1981年の市川崑監督作品『幸福』の復元プリントの上映や、本作品で使われた特殊現像プロセス「シルバー・カラー」とその復元に関する講演イベントを開催します。

* 当日のスケジュールなど詳細は当該チラシをご覧ください。



小ホール(地下1階)

[京橋映画小劇場] No.16

アンコール特集:

2008年度上映作品より

Back by Popular Demand: From the Programs of 2008

10月30日(金)～11月15日(日)

* 金、土、日曜日のみ上映

定員=小ホール 151名(各回入替制)

発券=地下1階受付

料金=一般500円／高校・大学生・シニア300円／小・中学生100円／障害者(付添者は原則1名まで)は無料

* 開演後の入場はできません。

* 観覧券は当日・当該回のみ有効です。

* 発券・開場は開演の30分前から行い、定員に達し次第締め切ります。

* 学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は、証明できるものをご提示ください。

* 発券は各回1名につき1枚のみです。

* 詳細は当該チラシをご覧ください。

展示室(7階)

[企画展]

生誕百年 映画女優 田中絹代

Film Actress Kinuyo Tanaka at her Centenary

2009年9月4日(金)～9月27日(日)

10月6日(火)～12月20日(日)

初々しいアイドルスターを振り出しに、数多くの傑作で女優としての魅力を加え、さらに映画監督としても6本の作品を残したことで日本映画史の中央を歩み続けた女優・田中絹代(1909～1977)。フィルムセンター所蔵資料のほか、生地の下関市で保存されている遺品などによって半世紀以上にわたる華麗な映画人生に迫ります。



写真提供:芸遊会



東劇 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル3F

TEL 03-3541-2711

東京メトロ日比谷線「東銀座」駅を下車、徒歩1分

地下鉄都営浅草線「東銀座」駅を下車、徒歩3分

[常設展] 企画展に併設

展覧会 映画遺産

— 東京国立近代美術館フィルムセンター・コレクションより —

The Japanese Film Heritage

— From the Non-film Collection of the National Film Center —

* 月曜日は休館

開館時間=午前11時～午後6時30分

(入場は午後6時まで)

料金(企画展・常設展共通)=一般200円(100円)／大学生・シニア70円(40円)／高校生以下及び18歳未満・障害者(付添者は原則1名まで)、MOMATバスポートをお持ちの方、キャンバスメンバーズは無料(* 内は20名以上の団体料金です)。

* 学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は、証明できるものをご提示下さい。

* フィルムセンターが主催する上映会をご覧になった方は当日に限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。

2009
10-11
大ホール

生誕百年 映画女優 田中絹代(1)

Film Actress Kinuyo Tanaka at her Centenary [Part 1]

月	火	水	木	金	土	日
10月	2 大学は出たけれど 落第はしたけれど (計90分)	1:00pm 愛よ人類と共にあれ (181分)	0:00pm 若者よなぜ泣くか (193分)	I4 私の兄さん 3:00pm (69分)	10 花嫁の寝言 1:00pm (57分)	II 応援団長の恋 1:00pm (78分)
	5 恋の花咲く 伊豆の踊子 (124分)	6 青春の夢いまいづこ (102分)	7 晴曇 8 4:00pm (125分)	I 進軍 9 7:00pm (142分)	5 感激時代 金色夜叉 4:00pm (計120分)	8 非常線の女 4:00pm (120分)
	12 婦系図 (135分)	13 お小夜恋姿 (95分)	15 男性対女性 (132分)	15 弁士:澤登翠 伴奏:新垣隆(ピアノ)	16 7:00pm (125分)	1 弁士:澤登翠 伴奏:湯浅ジョウイチ(ギター)、 鈴木真紀子(フルート)
	I 進軍 0:30pm (142分)	5 感激時代 金色夜叉 (計120分)	8 非常線の女 1:00pm (120分)	I9 母と子 3:00pm (88分)	2 大学は出たけれど 落第はしたけれど (計90分)	6 青春の夢いまいづこ 1:00pm (102分)
	18 女医絹代先生 4:00pm (91分)	II 応援団長の恋 4:00pm (78分)	10 花嫁の寝言 4:00pm (57分)	9 晴曇 7:00pm (125分)	3 若者よなぜ泣くか 4:00pm (193分)	7 恋の花咲く 伊豆の踊子 4:00pm (124分)
	16 新道[前後篇] 7:00pm (132分)	17 花籠の歌 7:00pm (69分)	4 愛よ人類と共にあれ 6:00pm (181分)	16 弁士:澤登翠 伴奏:柳下美恵(ピアノ)	17 弁士:澤登翠 伴奏:柳下美恵(ピアノ)	16 弁士:澤登翠 伴奏:湯浅ジョウイチ(ギター)
	20 南風 1:00pm (72分)	23 舞台姿 1:00pm (102分)	25 簪 1:00pm (70分)	28 或る女 1:00pm (95分)	ユネスコ「世界視聴覚遺産の 日」記念特別イベント	
	21 絹代の初戀 4:00pm (82分)	24 お絹と番頭 4:00pm (73分)	26 女医の記録 4:00pm (95分)	13 お小夜恋姿 4:00pm (95分)	『幸福』特別上映会: シルバー・カラーの復元 24	
	22 征戦愛馬譜 曙に祈る 7:00pm (105分)	29 還って来た男 7:00pm (67分)	27 日本の母 7:00pm (89分)	30 陸軍 7:00pm (87分)	31 宮本武蔵 11:00am (55分)	
11月	34 女性の勝利 1:00pm (81分)	37 女優須磨子の戀 1:00pm (96分)	40 風の中の牝雞 1:00pm (83分)	43 眞畫の円舞曲 1:00pm (109分)	I2 婦系図 11:00am (135分)	I3 お小夜恋姿 11:00am (95分)
	35 歌麿をめぐる五人の女 4:00pm (95分)	38 不死鳥 4:00pm (82分)	41 我が恋は燃えぬ 4:00pm (84分)	44 婚約指環 4:00pm (96分)	16 新道[前後篇] 2:00pm (132分)	19 母と子 1 2:00pm (88分)
	36 結婚 7:00pm (85分)	39 夜の女たち 7:00pm (73分)	42 新釋四谷怪談 [前後篇] 6:30pm (158分)	45 宗方姉妹 7:00pm (112分)	18 女医絹代先生 5:00pm (91分)	20 南風 5:00pm (72分)
	42 新釋四谷怪談 [前後篇] 10:30am (158分)	44 婚約指環 1:00pm (96分)	22 征戦愛馬譜 曙に祈る 1:00pm (105分)	15 男性対女性 1:00pm (132分)	38 不死鳥 11:00am (82分)	I7 花籠の歌 11:00am (69分)
	30 陸軍 3:00pm (87分)	33 三十三間堂通し矢物語 4:00pm (76分)	39 夜の女たち 4:00pm (73分)	37 女優須磨子の戀 4:00pm (96分)	35 歌麿をめぐる五人の女 4:00pm (95分)	43 眞畫の円舞曲 2:00pm (109分)
12月	26 女医の記録 5:00pm (95分)	14 私の兄さん 7:00pm (69分)	19 母と子 7:00pm (88分)	23 舞台姿 7:00pm (102分)	25 簪 5:00pm (70分)	28 或る女 5:00pm (95分)
	27 日本の母 1:00pm (89分)	26 女医の記録 1:00pm (95分)	29 還って来た男 1:00pm (67分)	10 花嫁の寝言 1:00pm (57分)	24 お絹と番頭 11:00am (73分)	37 女優須磨子の戀 11:00am (96分)
	31 宮本武蔵 4:00pm (55分)	36 結婚 4:00pm (85分)	20 南風 4:00pm (72分)	32 必勝歌 4:00pm (80分)	39 夜の女たち 2:00pm (73分)	45 宗方姉妹 2:00pm (112分)
	41 我が恋は燃えぬ 7:00pm (84分)	40 風の中の牝雞 7:00pm (83分)	35 歌麿をめぐる五人の女 7:00pm (95分)	34 女性の勝利 7:00pm (81分)	44 婚約指環 7:00pm (81分)	21 絹代の初戀 5:00pm (82分)

■作品によって開映時間が異なりますのでご注意ください。 ■ の回は無声映画の弁士・伴奏付き上映(特別料金)です。

図書室カレンダー

赤字は休室日

10月

1	2	3
4	5	6
7	8	9
10		
11	12	13
14	15	16
17		
18	19	20
21	22	23
24		
25	26	27
28	29	30
31		

11月

1	2	3
4	5	6
7	8	9
10	11	12
13	14	15
16	17	18
19	20	21
22	23	24
25	26	27
28	29	30



フィルムセンター〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:

東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分

都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口Aから中央通り方向へ徒歩1分

東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分

JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ:ハローダイヤル03-5777-8600

NFCホームページ:

<http://www.momat.go.jp/>

NFC携帯電話ホームページ:

<http://www.momat.go.jp/nfc/k/>

図書室(4階) 開室=火曜日~土曜日(午後0時30分~午後6時30分/入室は午後6時まで) 閉室=休館日および日曜・祝日

表紙:田中絹代

N

E

C

NFC CALENDAR

生誕百年 映画女優 田中絹代(2)

Film Actress Kinuyo Tanaka at her Centenary [Part 2]

2009年11月17日(火) - 12月27日(日)

12月の休館日：

開映後の入場はできません。



東京国立近代美術館フィルムセンター

National Film Center The National Museum of Modern Art, Tokyo

生誕百年
映画女優
田中絹代

田中絹代
生誕100年

2009
12

NFCカレンダー
2009年12月号

生誕百年
映画女優 田中絹代(2)
Film Actress Kinuyo Tanaka
at her Centenary [Part 2]

本年11月29日は映画女優・田中絹代(1909-77)生誕百年の記念日にあたります。絹代が弱冠14歳で松竹キネマに入社したのは、日本映画に本格的な職業女優が現れて間もない1924年のこと。可憐な娘役で人気を集め、スター第1号・栗島すみ子に次ぐ同社の看板女優へと急成長した彼女は、以来常に第一線で50年以上に及ぶキャリアを積み上げることになります。国産の土橋式トーキー第1作『マダムと女房』(1931年)や空前のヒット作『愛染かつら』(1938-39年)、戦中の『陸軍』(1944年)、戦後の『西鶴一代女』(1952年)など、歴史的名画の数々に彩られた田中絹代のフィルモグラフィーは、そのまま日本映画の歩みと重なり合うものといつても過言ではありません。

本企画では全体を10月6日から11月15日までの第1部と、この第2部とに分けて、現存する初期の無声映画から、晩年の64歳でベルリン映画祭主演女優賞を受賞した『サンダカン八番館 望郷』(1974年)まで、さらには『恋文』(1953年)など6本の監督作品を含む90本以上の上映を通してその偉大な足跡をたどります。

12月20日まで開催中の展覧会「生誕百年 映画女優 田中絹代」とともにお楽しみください。

- 監督・演出 原=原作・原案 脚=脚本・脚色
- 撮=撮影 美=美術・装置 音=音楽 出=出演
- クレジット中の赤字は田中絹代の役名です。
- スタッフ、キャストの人名は原則として公開当時の表記を記載しています。
- 記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。
- 特集には不完全なプリントが含まれていることがあります。

1 11/17(火)1:00pm 12/9(水)4:00pm 12/26(土)5:00pm

銀座化粧(87分・35mm・白黒)

銀座のネオン街を舞台にそこで働く女性たちの日常生活を細やかに描く。成瀬監督と絹代は本作の成功とともにそれまでのスランプを脱したといわれる。ひとり息子を育てながらバーテンダーとして働く雪子(絹代)は、同僚の知人である石川(堀)を東京見物に案内した縁で、彼に淡い恋心を抱く。

'51(新東宝) 津路雪子[○]成瀬巳喜男[○]井上友一郎[○]岸松雄[○]三村明[○]河野鷹思[○]鈴木静一[○]花井蘭子、堀雄二、香川京子、柳永二郎、東野英治郎、田中春男、小杉義男、三島雅夫、清川玉枝、春山葉子

7 11/19(木)1:00pm 12/9(水)7:00pm 12/27(日)2:00pm

おかあさん(98分・35mm・白黒)

戦災で焼け出されたクリーニング店を再び盛り上げようと、夫や息子を失いつつも懸命に生きる母(絹代)と、その姿を見つめる娘(香川)。小学生の作文をまとめた文集をもとに、悲哀の中にユーモラスな表現にもじめたホームドラマ。絹代は『銀座化粧』に続く成瀬監督とのコンビで日本の庶民の母親像に新境地を開いた。

'52(新東宝) 福原正子[○]成瀬巳喜男[○]水木洋子[○]鈴木博[○]加藤雅俊[○]齊藤一郎[○]香川京子、岡田英次、片山明彦、加東大介、鳥羽陽之助、三島雅夫、中北千枝子、三好栄子、一の宮あつ子、本間文子、澤村貞子

2 11/17(火)4:00pm 12/10(木)7:00pm 12/27(日)11:00am

お遊さま(93分・35mm・白黒)

見合いに臨んだ男(堀)がその相手(乙羽)でなく付き添いの姉(絹代)に心を奪われたことから生まれる危うい三角関係。谷崎潤一郎の「蘆刈」を耽美的な演出で映画化し、宮川一夫が本作で初めて溝口作品の撮影を担当した。溝口がとくに絹代を美しく撮ることに熱意を注いだというエピソードもよく知られている。

'51(大映京都) お遊さま[○]溝口健二[○]谷崎潤一郎[○]依田義賢[○]宮川一夫[○]水谷浩[○]早坂文雄[○]乙羽信子、堀雄二、柳永二郎、進藤英太郎、東良之助、南部彰三、平井岐代子、金剛麗子、小松みどり

8 11/19(木)4:00pm 12/5(土)5:00pm

まごころ(95分・35mm・白黒)

勉強部屋から窓越しに見えるアパートの少女。慶大受験を控えた少年は、胸の病に苦しむその少女を見続けながら、淡い恋感情を感じようになっていた。貧富の差という現実を背景に、思春期の心の揺らぎを細やかに描きだした小林正樹のデビュー第2作。絹代が従弟にあたる小林監督と組んだ唯一の作品でもある。

'53(松竹大船) 邦子[○]小林正樹[○]木下恵介[○]森田俊保[○]平高主計[○]木下忠司[○]津島恵子、高橋貞二、石浜朗、三橋達也、淡路恵子、野添ひとみ、須賀不二夫、千田是也、東山千栄子、永田靖、高松栄子、水上令子

3 11/17(火)7:00pm 12/12(土)11:00am

武藏野夫人(88分・35mm・白黒)

本格的な西欧風の心理的ロマンスクとして高く評価された大岡昇平のベストセラー小説を映画化。本作も『お遊さま』同様、溝口の強い希望で絹代をヒロインに据えて企画された。俗物のフランス文学の教授(森)とその妻(絹代)を軸に、入り乱れる恋愛関係はやがて破滅へと向かう。

'51(東宝) 秋山道子[○]溝口健二[○]大岡昇平[○]福田恒存、依田義賢[○]玉井正夫[○]松山崇[○]早坂文雄[○]轟夕起子、森雅之、片山明彦、山村聰、進藤英太郎、平井岐代子、中村美那子、千石規子、深見泰三

9 11/19(木)7:00pm 12/6(日)11:00am

煙突の見える場所(108分・35mm・白黒)

見る場所によっては4本にも1本にも見える巨大な「お化け煙突」。その下町の象徴を背景に、悲喜こもごもの戦後庶民の暮らしが描かれる。絹代は、戦災で行方不明の夫との籍を残したまま新しい男と生活する臆病な中年女に扮している。ベルリン国際映画祭で国際平和賞を受賞。

'53(スタジオ・エイト・プロ=新東宝) 弘子[○]五所平之助[○]椎名麟三[○]小国英雄[○]三浦光雄[○]下河原友雄[○]芥川也寸志[○]上原謙、高峰秀子、芥川比呂志、関千恵子、花井蘭子、坂本武、田中春男

4 11/18(水)1:00pm 12/8(火)7:00pm

稻妻草紙(98分・35mm・白黒)

同年の『おぼろ駕籠』の成功を受けて、阪妻=絹代の看板コンビで製作された正月映画。惚れた娘(絹代)が、自分が上意討ちを果たさねばならぬ青年を愛していると知つて苦悩に沈む侍(阪妻)。この年デビューしたばかりの三国連太郎が絹代の相手役で、血氣盛んな若者を演じている。

'51(松竹京都) お雪[○]稲垣浩[○]鈴木兵吾[○]安本淳[○]角井平吉[○]鈴木靜一[○]阪東妻三郎、木暮実千代、三国連太郎、進藤英太郎、上田吉二郎、羅門光三郎、戸上城太郎、永田光男、葛木香一、尾上栄五郎、富本民平、山路義人、谷晃

10 11/20(金)1:00pm 12/13(日)1:30pm

雨月物語(97分・35mm・白黒)

戦国の世に、金欲に取り憑かれて妻まで犠牲にした男どもが、妖しい幻に翻弄されてすべてを失つてゆく。上田秋成の怪奇文学を元にした川口松太郎の連続小説を映画化。なまめかしいキャメラの移動を駆使して描かれた幽玄な世界は“ミヅグチ”作品の最高峰として世界に認められている。ヴェネチア国際映画祭で銀獅子賞を受賞。

'53(大映京都) 宮木[○]溝口健二[○]上田秋成[○]川口松太郎、依田義賢[○]宮川一夫[○]伊藤薰朔[○]早坂文雄[○]京マチ子、水戸光子、森雅之、小澤栄、青山杉作、羅門光三郎、香川良介、上田吉二郎、南部彰三、毛利菊枝

5 11/18(水)4:00pm 12/11(金)1:00pm 12/27(日)5:00pm

西鶴一代女(136分・35mm・白黒)

井原西鶴の「好色一代女」をもとに、封建的な男性社会に弄された女の波瀬の生涯を描いた溝口健二の代表作。ヴェネチア国際映画祭で監督賞を受賞し、海外に溝口の名を知らしめるきっかけとなつた。御殿女史から転落を重ね年老いた街娼へと成り果てる主人公・お春に扮した絹代の迫真の演技も伝説となつていています。

'52(児井プロ=新東宝) お春[○]溝口健二[○]井原西鶴[○]依田義賢[○]平野好美[○]水谷浩[○]斎藤一郎[○]山根壽子、三船敏郎、宇野重吉、菅井一郎、進藤英太郎、大泉滉、清水将夫、加東大介、小川虎之助、柳永二郎、原駒子

11 11/20(金)4:00pm 12/15(火)7:00pm

獅子の座(125分・35mm・白黒)

江戸幕府の始まり以来6回目の勧進能を舞うことになった宝生十五代の宗家・弥五郎(長谷川)。かわいい息子に厳しく接しなくてはならない弥五郎、嫡子である我が身をうらめしく思う石之助(加藤)、そして息子の成長を見守る妻・久(絹代)など、一家の様々な心の動きが描かれている。絹代と長谷川一夫が久々の共演。

'53(大映京都) 妻・久[○]伊藤輔[○]松本かし[○]田中澄江[○]石本秀雄[○]伊藤薰朔[○]伊玖磨[○]長谷川一夫、堀雄二、岸恵子、大矢市次郎、伊志井寛、東山千栄子、浦邊采子、加藤雅彦、打田典子、荒木忍、尾上榮五郎

6 11/18(水)7:00pm 12/10(木)1:00pm

西陣の姉妹(110分・35mm・白黒)

前年の『偽れる盛装』に続き、新藤兼人=吉村公三郎が再び〈京都もの〉に取り組んだ一篇。京都の織元として名をはせた旧家の主人が借金を残して自殺。周囲の人情に支えられつつも、夫人と3人の娘はどうすることもできず、債権者は容赦なく一家の身ぐるみを剥いでゆく。

'52(大映京都) 染香[○]吉村公三郎[○]新藤兼人[○]宮川一夫[○]小池一美[○]伊福部昭[○]宮城野由美子、三浦光子、津村悠子、宇野重吉、三橋達也、菅井一郎、進藤英太郎、柳永二郎、日高澄子、東山千栄子、近衛敏明、殿山泰司

12 11/20(金)7:00pm 12/6(日)2:00pm

山椒大夫(124分・35mm・白黒)

鷗外の有名な短篇を下敷きに、親から引き離され奴隸生活を強いられた兄妹の悲劇を綴つた作品。絹代は盲目的鳥追いとなった母親・玉木を演じるため減食して役作りに臨んだ。溝口は本作でヴェネチア国際映画祭3年連続の受賞を達成。

'54(大映京都) 玉木[○]溝口健二[○]森鷗外[○]八尋不二、依田義賢[○]宮川一夫[○]伊藤薰朔[○]早坂文雄[○]花柳喜章、香川京子、進藤英太郎、菅井一郎、見明凡太郎、浪花千栄子、毛利菊枝、三津田健

13 11/21(土)11:00am 12/11(金)7:00pm

女の暦(100分・16mm・白黒)

壺井栄の自伝的小説を映画化。両親の法事を営むため小豆島の実家で久しぶりの再会を果たした5人の姉妹。久松静児が日常的な生活風景の中に女性たちそれぞれの異なる境遇、心情を鮮やかに描き出した一篇。生活に疲れた長女と次女に扮した絹代、花井蘭子の名演も高く評価された。

'54(新東宝)佐伯ミチ^監久松静児^原壺井栄^脚井手俊郎、中河百合代^脚鈴木博^監下河原友雄^原斎藤一郎^脚十朱久雄、杉葉子、香川京子、花井蘭子、三島雅夫、轟夕起子、舟橋元、細川俊夫、永井柳太郎、三好栄子、清川玉枝

14 11/21(土)2:00pm 12/8(火)1:00pm

噂の女(84分・35mm・白黒)

舞台は京都の色街・島原遊郭。東京での失恋に傷心して帰郷した大学生は、置屋を営む母親の愛人(大谷)をめぐつていつしか彼女と対立の関係になる。絹代は打算的な青年に娘ともども裏切られる母親役を好演しているが、溝口とのコンビは本作が最後となった。

'54(大映京都)馬渕初子^原溝口健二^脚依田義賢、成澤昌茂^監宮川一夫^原水谷浩^脚黛敏郎^原大谷友右衛門、久我美子、進藤英太郎、見明凡太朗、浪花千栄子、田中春男、十朱久雄、阿井三千子、峰幸子

15 11/21(土)5:00pm 12/10(木)4:00pm

渡り鳥いつ帰る(128分・35mm・白黒)

永井荷風の短篇3作を久保田万太郎が構成し、文芸映画に定評のある八住利雄が脚本化。壳春禁止法の公布を翌年に控えた、ある娼家の経営者夫婦と娼婦たちの人間模様を描く。やり手のおかみに扮した絹代はじめ、一線級のスターが色街の女たちを演じているのが見もの。

'55(東京映画)おしけ^原久松静児^原永井荷風^構久保田万太郎^脚八住利雄^原高峰通夫、玉井正夫^原伊藤煮粥、小島基司^原伊玖磨^原高峰秀子、森繁久彌、久慈あさみ、淡路恵子、岡田茉莉子、水戸光子、太刀川洋一、桂木洋子、織田政雄、浦辺条子、左ト全、藤原釜足

16 11/22(日)11:00am 12/15(火)1:00pm 12/25(金)4:00pm

少年死刑囚(104分・35mm・白黒)

中山義秀の同名小説を映画化。祖父母と叔父夫婦の4人を殺害した少年の不幸な生い立ちと、看守長の導きで次第に仏教に目ざめていく過程を描く。前年にデビューした牧真介が少年を演じて注目を集めた。絹代は母の里子に扮している。

'55(日活)山本里子^監吉村廉^原中山義秀^脚八木保太郎^脚岡薫、佐治乾^原峰重義^原木村威夫^原斎藤高順^原牧真介、木室郁子、菅井一郎、多々良純、信欣三、内海突破

17 11/22(日)2:00pm 12/16(水)4:00pm 12/25(金)7:00pm

月夜の傘(127分・35mm・白黒)

東京郊外の住宅地に暮らす4組の家族の生活が、井戸端会議に集まる妻たち(絹代、轟、坪内、新珠)の視点を通して描かれる。前年の『二十四の瞳』(木下恵介監督)公開でブームとなった壺井栄の小説を、『女の暦』に引き井手俊郎と久松静児のコンビが映画化して、こちらも大ヒットとなつた。

'55(日活)小谷律子^監久松静児^原壺井栄^脚井手俊郎^原姫田真佐久^原木村威夫^原斎藤一郎^原新珠三千代、坪内美詠子、轟夕起子、宇野重吉、三島耕、宍戸錠、伊藤雄之助、二木てるみ、三島雅夫

18 11/24(火)4:00pm 12/18(金)1:00pm

王将一代(115分・16mm・白黒)

実在の棋士・坂田三吉(1870~1946)の半生を描いた北條秀司の同名戯曲をもとに、伊藤大輔が3度にわたり試みた映画化のひとつ。1948年の『王将』では阪東妻三郎と水戸光子、1962年の『王将』では三国連太郎と淡島千景が演じた三吉とその妻・小春に、本作では辰巳柳太郎と絹代が扮している。

'55(新東宝)妻・小春^原伊藤大輔^原北條秀司^原菊島隆三^原平野好美^原松山崇^原伊福部昭^原辰巳柳太郎、木暮實千代、藤本リリ子、香川京子、田中春男、三島雅夫

19 11/24(火)1:00pm 12/9(水)1:00pm 12/26(土)2:00pm

色ざんげ(92分・35mm・白黒)

若い愛人(北原)への恋に苦悩する画家(森)の恋愛遍歴を描いた文芸作品。東郷青児の心中未遂事件をモデルにしたといわれる宇野千代の連載小説を映画化。絹代は主人公をとりまく女性の一人で、彼に同情を寄せるバーの女・お八重に扮している。

'56(日活)お八重^原阿部豊^原宇野千代^原田岡敬一^原峰重義^原木村威夫^原斎藤一郎^原森雅之、北原三枝、三島耕、宍戸錠、武藤章生、天路圭子、高田敏江

25 11/26(木)1:00pm 12/18(金)7:00pm

地上(98分・35mm・カラー)

大正初期の作家・島田清次郎による同名ベストセラーソrial^原作。金沢を舞台とする、貧しい母子家庭に育った気骨ある青年・平一郎と地方有力者の娘の純愛物語。絹代は、針仕事、遊郭での下働きなどで生計を立てて平一郎の母親・お光を演じ、『異母兄弟』『太夫さんより 女体は哀しく』とあわせて毎日映画コンクール助演女優賞に輝いた。

'57(大映東京)平一郎の母・お光^原吉村公三郎^原島田清次郎^原新藤兼人^原中川芳久^原間野重雄^原伊福部昭^原川口浩、野添ひとみ、香川京子、佐分利信、川崎敬三、入江洋佑

20 11/22(日)5:00pm 12/8(火)4:00pm

嵐(108分・35mm・白黒)

心境小説の傑作と評された島崎藤村の同名短篇小説を映画化。原作が持つ現実的な生々しさを極力排除し、妻に先立たれた無骨な父(笠)と4人の子供との交流が淡々と描かれる。女中・お徳に扮した絹代の観察者としての存在感と、雪村いづみの清々しい演技が稻垣監督の期待に応えている。

'56(東宝)お徳^原稻垣浩^原島崎藤村^原菊島隆三^原飯村正^原北猛夫、植田寛^原深井史郎^原笠智衆、久保明、雪村いづみ、加東大介、東郷晴子、大塚國夫、中北千枝子、清水元

26 11/26(木)4:00pm 12/22(火)7:00pm

悲しみは女だけに(105分・35mm・白黒)

新藤兼人が自作の戯曲を脚色、監督した作品。家計のためにアメリカへ嫁いだ秀代(絹代)の帰国をきっかけに、弟である飲み屋の店主(小沢)一家の問題が一気に露呈する。絹代は、自己犠牲が徒労だったことをショックとともに受け止めてゆく秀代の精神的な強さ弱さを巧みに浮き彫りにしている。

'58(大映東京)秀代^原新藤兼人^原中川芳久^原丸茂孝^原伊福部昭^原小澤榮太郎、京マチ子、望月優子、杉村春子、市川和子、船越英二、乙羽信子、水戸光子、宇野重吉、見明凡太朗、殿山泰司

21 11/24(火)7:00pm 12/12(土)2:00pm

流れる(116分・35mm・白黒)

落ちぶれかかった柳橋の置屋に暮らす芸者たちの哀歎が、しみじみと綴られた成瀬巳喜男の作品。豪華な女優陣が彩る本作で、絹代は、素人ながら花柳界に女中として入った梨花を演じ、地味だが聰明で人情味のある役柄をこなしている。

'56(東宝)女中・梨花^原成瀬巳喜男^原幸田文^原田中澄江、井手俊郎^原玉井正夫^原中古智^原斎藤一郎^原山田五十鈴、高峰秀子、岡田茉莉子、杉村春子、栗島すみ子、中北千枝子、賀原夏子、宮口精二、加東大介、中村伸郎、音羽久米子

27 11/26(木)7:00pm 12/25(金)1:00pm

楳山節考(98分・35mm・カラー)

深沢七郎のベストセラーソrial^原作を基に、姥捨て伝説が歌舞伎の意匠を用いた独特な様式美で描かれる。絹代は、まだまだ健康だが自然の摂理として自らの死期を悟っているおりんに扮し、人間の生の悲しさや尊さを体現した。キネマ旬報ベストワンに輝き、興行的に大成功を収めた作品。

'58(松竹大船)おりん^原柳木下惠介^原深澤七郎^原楠田浩之^原伊藤憲朔^原杵屋六左衛門(長唄作曲)、野澤松之輔(淨瑠璃作曲)^原高橋貞二、望月優子、市川団子、宮口精二、伊藤雄之助、東野英治郎、三津田健、小笠原慶子、織田政雄、西村晃、鬼笑介、高木信夫

22 11/25(水)1:00pm 12/17(木)7:00pm

黄色いからす(104分・35mm・カラー)

親から十分な愛情が得られず心を閉ざしてゆく少年・清。家庭に暗い影を落とす戦争の傷痕をテーマにしながら、その心情を児童心理学的観点から捉えている。絹代は、心の拗り所を失った少年に優しく手を差し伸べる隣人役を演じている。

'57(歌舞伎座)松本雪子^原五所平之助^原館岡謙之助、長谷部慶壽^原宮島義勇^原久保一雄^原芥川也寸志^原淡島千景、伊藤雄之助、久我美子、設樂幸嗣、飯田蝶子、中村是好、高原駿雄、島田屯、多々良純、沼田曜一

28 11/27(金)1:00pm 12/16(水)7:00pm

彼岸花(118分・35mm・カラー)

何の相談もなく結婚相手を決めた娘(有馬)に動揺する父親(佐分利)の姿が描かれる。娘の結婚を後押すする脇役陣も絶妙の演技を見せ、絹代は、悩める家族を静かに見守りながらも、どことなくユーモアを漂わせた母親役を演じている。

'58(松竹大船)平山清子^原小津安二郎^原里見淳^原野田高梧^原厚田雄春^原浜田辰雄^原斎藤高順^原佐分利信、有馬稻子、久我美子、佐田啓二、高橋貞二、山本富士子、桑野みゆき、笠智衆、浪花千栄子、渡辺文雄、中村伸郎、北竜二、高橋とよ、櫻むつ子

23 11/25(水)4:00pm 12/12(土)5:00pm

異母兄弟(110分・35mm・白黒)

家庭内における夫の独善性や封建主義を痛烈に批判する社会派家庭劇。カルロヴィ・ヴァリ国際映画祭でグランプリに輝いた家城監督の代表作。絹代は、軍人一家の女中から家長の後妻となり、夫からの執拗な虐待にじっと堪える女・利江を好演している。

'57(独立映画)妻・利江^原家城巳代治^原田宮虎彦^原依田義賢、寺田信義^原宮島義勇^原平川透徹^原芥川也寸志^原三国連太郎、高千穂ひづる、中村賀津雄、南原伸二、飯田蝶子、永井智雄、島田屯、西田昭市、近藤宏、富田仲次郎

29 11/27(金)4:00pm 12/23(水)2:00pm

母子草(89分・35mm・白黒)

貧困にあえぎながらも実の子と分け隔てなく育ってくれた繼母(絹代)と、彼女への深い感謝と尊敬の思いから自分たちの人生を選んでゆく繼子2人の、血つながりを超えた家族の絆が描かれる。この作品の原作は1942年にも田坂具隆により映画化されている。

'59(東映東京)小沢しげ^原山村聰^原小糸のぶ^原楠田芳子^原荒牧正^原進藤誠吾^原木下忠司^原佐久間良子、水木裏、春丘典子、木村功、大和田勝之、北川恵一

30 11/27(金)7:00pm 12/19(土)2:00pm

太陽に背く者(103分・35mm・白黒)

京都・西陣のバーで起こった殺人事件の真相究明に、下積み刑事3人が全力を注ぐ。本作は刑事ものの体裁をとりつつも、捜査熱のあまり家庭を疎かにする市川(志村)と妻(絹代)がいがみ合うシーンなども交えたホームドラマとなっている。

'59(松竹京都)市川の妻・ふみ^原酒井辰雄^原櫻原一郎^原浅野辰雄、関沢新一、瀬川昌治^原倉持友一^原水谷浩^原鈴木靜一^原志村哲、杉浦直樹、田中春男、高野真二、千之助子、宇野博信、水原眞智子、日比野恵子、津路清子、石黒達也

31 11/28(土)11:00am 12/17(木)4:00pm

おとうと(98分・35mm・カラー)

幸田文の同名小説を原作にした、複雑な家庭環境の中で寄り添って生きる姉弟の物語。銀残しと呼ばれる特殊現象処理が試みられたことでも注目を浴びた作品。絹代はほぼ寝たぎりの継母役を、限られた身体表現で演じきり、毎日映画コンクール女優助演賞に輝いた。

'60(大映東京)母[◎]市川崑[◎]幸田文[◎]水木洋子[◎]宮川一夫[◎]下河原友雄[◎]芥川也寸志[◎]岸恵子、川口浩、森雅之、土方孝哉、友田輝、岸田今日子、仲谷昇、江波杏子、穂高のり子、浜村純、夏木章、飛田喜佐夫、伊東光一、星ひかる

32 11/28(土)2:00pm 12/22(火)1:00pm

別れて生きるときも

(100分・35mm・カラー)

詐欺常習犯の父を持つ美智(司)は、女学校卒業と同時に母からも捨てられ、幾度ない困難の末に一度は幸せをつかむが…。絹代は、夫の犯罪のせいで苦しい生活を強いられたにもかかわらず、服役後の夫と姿を消してしまう美智の母親を演じ、出る場面は少ないと、独特な存在感を見せている。

'61(東宝)美智の母[◎]堀川弘通[◎]田宮虎彦[◎]松山善三[◎]中井朝一[◎]中古智[◎]芥川也寸志[◎]高島忠夫、司葉子、板屋幸江、一木双葉、児玉清、小林桂樹、芥川比呂志、沢村いき雄、菅井きん、松村達雄

33 11/28(土)5:00pm 12/15(火)4:00pm

放浪記(123分・35mm・白黒)

文壇で成功するまでの波乱に満ちた日々を描いた林英美子の自伝的小説が原作。本作以前にすでに2度映画化されているが、ここでは東宝演劇の菊田一夫版もベースになっている。絹代は、娘・ふみ子(高峰)とともに行商で生計を立て、最終的には九州にいる夫のもとに送り返される母親・さしを演じている。東宝創立30周年記念作品。

'62(宝塚映画)母・さし[◎]成瀬巳喜男[◎]林英美子、菊田一夫[◎]井手俊郎、田中澄江[◎]安本淳[◎]中古智[◎]古関裕而[◎]高峰秀子、宝田明、加東大介、小林桂樹、草笛光子、仲谷昇、伊藤雄之助、多々良純、織田政雄、加藤武、飯田蝶子

34 11/29(日)11:00am 12/11(金)4:00pm

かあさん長生きしてね

(91分・35mm・カラー)

青森の寒村と東京を舞台に繰り広げられる、貧しい母と息子の物語。加藤日出男の原作は社会的側面により重きを置いたものだが、本作は、身体の弱い母親・芳野(絹代)とその息子・和夫(勝呂)の親子愛に焦点を当てている。

'62(松竹大船)芳野[◎]川頭義郎[◎]加藤日出男[◎]楠田芳子[◎]荒野謙一[◎]岡田要[◎]木下忠司[◎]勝呂、倍賞千恵子、川津祐介、葵京子、佐田啓二、清川虹子、千之助子、水科慶子、伴淳三郎、清川玉枝

35 11/29(日)2:00pm 12/16(木)1:00pm

結婚式 結婚式(94分・35mm・カラー)

喜寿を迎える浩蔵の一家は、次男夫婦の出産を機に3つの結婚話が舞い込み、騒然とする。当時視聴率の高かったテレビドラマ「未広」の、豪華キャストによる映画化。絹代は、一家の大きな変化に戸惑いを隠せない頑固な夫・浩蔵の妻を演じている。

'63(松竹大船)妻・まさ[◎]中村登[◎]松山善三[◎]厚田雄春[◎]佐藤公信[◎]木下忠司[◎]伊志井寛、増田順司、丹阿弥谷津子、多賀谷秀和、川津祐介、榎ひろみ、山本圭、佐田啓二、環三千世、田村高広、岡田茉莉子、岩下志麻、東野英治郎、沢村貞子、長門裕之

36 11/29(日)5:00pm 12/18(金)4:00pm

太平洋ひとりぼっち(97分・35mm・カラー)

1962年に堀江謙一が成功させた小型単独操縦ヨットによる太平洋横断を、本人のベストセラー手記を原作に描いた作品。極限状態を耐え忍ぶ青年の船上生活と、青年が回想する母親(絹代)および家族との生活が、鮮明なコントラストで示されている。

'63(日活=石原プロモーション)母[◎]市川崑[◎]堀江謙一[◎]和田夏十[◎]山崎善弘[◎]松山崇[◎]芥川也寸志、武満徹[◎]石原裕次郎、浅丘ルリ子、森雅之、大坂志郎、ハナ肇、芦屋雁之助、神山勝、草薙幸二郎

37 12/1(火)1:00pm 12/24(木)7:00pm

光る海(125分・35mm・カラー)

作家志望の少女・美枝子(吉永)が、友人の出産や母の再婚、失恋を経験し大人へと成長していく。石坂洋次郎の原作を基にした、中平康の青春ドラマ。絹代は、和子(十朱)の叔母役として叔父役の森雅之と絶妙のコンビを組み、作品に趣を添えている。

'63(日活)矢崎信子[◎]中平康[◎]石坂洋次郎[◎]池田一朗[◎]山崎善弘[◎]松山崇[◎]黛敏郎[◎]吉永百合、浜田光夫、森雅之、高峰三枝子、和泉雅子、山内賢、十朱幸代、杉山俊夫、和田浩治、宮口精二、ミヤコ蝶々、飯田蝶子、高野由美、小夜福子、清水将夫、佐野浅夫

41 12/2(水)1:00pm 12/20(日)5:00pm

サンダカンハ番娼館 望郷

(121分・35mm・カラー)

貧しさゆえに東南アジアに身売りされ、売春で生きることを余儀なくされた女性「からゆきさん」について、新たな視点で描いたベストセラー・ノンフィクションの映画化。波乱に満ちた過去を語る晩年の主人公に扮した絹代の熟達した演技は、ベルリン国際映画祭の主演女優賞をもたらした。

'74(東宝=俳優座)北川サキ[◎]熊井啓[◎]山崎朋子[◎]廣澤栄[◎]金宇満司[◎]木村威夫[◎]伊福部昭[◎]栗原小卷、高橋洋子、田中健、水の江瀧子、小沢栄太郎、浜田光夫、砂塚秀夫、中谷一郎、信欣三、梅野泰靖、山谷初男、江幡高志、淺若芳太郎、平田守、清水幹子

42 12/2(木)6:30pm 12/24(木)0:30pm

ある映画監督の生涯 私家版

(150分・35mm・カラー)

新藤監督がかつて師事した溝口健二監督についての記録映画。生前の溝口と仕事をともにした39名の映画人へのインタビューを通じて、監督の創作の秘密に迫る。絹代も、自らを演技派女優へと導いた溝口との出会いの作品『浪花女』にまつわるエピソードなどを語っている。

'75(近代映画協会)新藤兼人[◎]三宅義行[◎]入江たか子、永田雅一、山田五十鈴、三木茂、牛原虚彦、京マチ子、伊藤大輔、宮川一夫、増村保造、絲屋寿雄、香川京子、木暮実千代、山路ふみ子、津村秀夫、岡本健一、坂根田鶴子、乙羽信子、中村鴈治郎、進藤英太郎、小沢栄太郎

43 12/3(木)1:00pm 12/20(日)2:00pm

おれの行く道(86分・35mm・カラー)

大学に籍を置き登山に明け暮れる問題児の耕三(西城)は、大金持の祖母・キク(絹代)とは犬猿の仲だが、彼女の遺産があてにならないとわかるや、それまでとは打って変わって彼女を邪魔に扱う家族に激怒し、キクと旅に出ることになる。当時人気絶頂だった西城秀樹との共演で話題を呼んだ。

'75(松竹大船)キク[◎]山根成之[◎]光英司[◎]竹村博[◎]熊谷正雄[◎]岡田辺信一[◎]西城秀樹、河原崎長一郎、岩本多代、西野正一、片桐タ子、小松政夫、池上季実子、北沢彪、北浦昭義、弓恵子、夏純子、磯野洋子、野村昭子

44 12/3(木)4:00pm 12/23(水)5:00pm

大地の子守歌(111分・35mm・カラー)

13歳で売春宿に売られた目が見えない少女りんの、苦難に満ちた人生を描いた作品。絹代は農婦として出演している。その後NHK朝の連続テレビ小説『雲のじゅうたん』のナレーションを終えると同時に、脳腫瘍の発症で入院し、闘病の末他界したため、映画としては本作が最後の絹代演作となった。

'76(行動社=木村プロ)農婦[◎]増村保造[◎]素九鬼子[◎]白坂依志夫[◎]中川芳久[◎]間野重雄[◎]竹村次郎[◎]原田美枝子、佐藤佑介、賀原夏子、灰地順、堀井永子、中川三穂子、千葉裕子、渡部真美子、岡田英次、梶芽衣子

40 12/2(木)4:00pm 12/19(土)5:00pm

三婆(101分・35mm・カラー)

会社社長が急死するや、本妻(三益)と妾(木暮)が遺産争いを始め、そこへさらに社長の妹・タキ(絹代)が転がり込む。奇妙な同居生活をする羽目になった強烈な個性の年配女三人を、大女優たちが見事に演じている。絹代扮する初老のタキは、どことなく薄気味悪い雰囲気をかもし出す強烈なキャラクターとして登場する。

'74(東京映画)武市タキ[◎]中村登[◎]有吉佐和子[◎]井手俊郎[◎]井博[◎]阿久根巖[◎]山本直純[◎]三益愛子、木暮実千代、有島一郎、小鹿ミキ、長沢純、吉田日出子、名古屋章、村田正雄、佐藤正文、条文子、目黒幸子、谷川修



銀座化粧

◆田中絹代監督作品

45 12/3(木)7:00pm 12/19(土)11:00am

恋文(97分・35mm・白黒)

田中絹代の第1回監督作品。戦争から帰還した礼吉(森)は、洋妾のための恋文代筆業をしながら、かつて想いを寄せた道子の行方を追うが…。丹羽文雄の新聞連載小説を木下恵介が脚色。絹代は成瀬巳喜男の『あにいもうと』の現場で2ヶ月の助監督経験を積んだ上で本作の監督に臨んだ。

'53(新東宝) 下宿のおばさん(田中絹代) 丹羽文雄(木下恵介) 鈴木博(進藤誠吾) 齋藤一郎(森雅之) 加島春海、夏川静江、宇野重吉、久我美子、香川京子、関千恵子、中北千枝子、花卉蘭子、道三重三

46 12/4(金)1:00pm 12/20(日)11:00am

月は上りぬ(102分・35mm・白黒)

日本映画監督協会の企画による監督第2作。小津安二郎が『長屋紳士録』(1947年)発表直後に斎藤良輔と共に書いた脚本を提供。絹代を監督に強く推薦したのも小津であった。奈良に住むやもめの父が三姉妹の結婚話にやきもきする物語。

'55(日活) 浅井家の下働き米や(田中絹代) 斎藤良輔、小津安二郎(峰重義) 木村威夫(斎藤高順) 笠智衆、佐野周二、山根壽子、杉葉子、北原三枝、三島耕、安井昌二、増田順二、小田切みき、汐見洋

47 12/4(金)4:00pm 12/23(水祝)11:00am

乳房よ永遠なれ(110分・35mm・白黒)

監督第3作。前作に続き日活で製作された。乳癌のため若しくて世を去った薄幸の歌人・中城ふみ子の生涯を、田中澄江が脚色。松竹から移籍した月丘夢路がヒロイン(役名は下城)を演じ、その恋人で原作者の若月彰(役名は大月章)には葉山良二が扮し本作でデビューを飾った。

'55(日活) 腸の奥さん(田中絹代) 若月彰、中城ふみ子(田中澄江) 斎藤岡条信(中村公彦) 斎藤高順(月丘夢路)、葉山良二、織本順吉、川崎弘子、大坂志郎、安部徹、森雅之、杉葉子、北原文枝、木室郁子、坪内美詠子、飯田蝶子、左ト全

48 12/5(土)11:00am 12/24(木)4:00pm

流転の王妃(102分・35mm・カラー)

監督第4作。満州国皇帝溥儀の弟溥傑に嫁いだ愛新覚羅浩の波乱に富んだ自伝を和田夏十が脚色、ヒロイン(役名は呼倫愛新覚羅竜子)には京マチ子が扮している。原作から脚本・監督・主演まですべて女性という画期的な作品としても近年再評価が高まっている。

'60(大映東京) 田中絹代(愛新覚羅浩) 和田夏十(渡辺公夫) 間野重雄(木下忠司) 京マチ子、船越英二、金田一敦子、東山千栄子、沢村貞子

49 12/5(土)2:00pm 12/22(火)4:00pm

女ばかりの夜(92分・35mm・白黒)

監督第5作。1958年の売春防止法の施行後、社会の偏見に耐えながら更正の道を歩む女性たちを描いた社会ドラマ。『夜の女たち』で売春婦を演じた絹代が女性の視点で題材に取り組み注目を集めめた。ヒロインに抜擢された原知佐子の好演も評判となった。

'61(東京映画) 田中絹代(梁雅子) 田中澄江(中井朝一) 小島基司(林光) 原知佐子、北あけみ、浪花千栄子、千石規子、淡島千景、沢村貞子、岡村文子、桂小金治、中北千枝子、夏木陽介、香川京子



『恋文』演出中の田中絹代監督

展示室(7階)

[企画展]

生誕百年 映画女優 田中絹代

Film Actress Kinuyo Tanaka at her Centenary

2009年9月4日金—9月27日日

10月6日火—12月20日日

初々しいアイドルスターを振り出しに、数多くの傑作で女優としての魅力を加え、さらに映画監督としても6本の作品を残したことで日本映画史の中央を歩み続けた女優・田中絹代(1909-1977)。フィルムセンター所蔵資料のほか、生地の下関市で保存されている遺品などによって半世紀以上にわたる華麗な映画人生に迫ります。



お知らせ▶第10回東京フィルメックス ニッポン★モダン1930 ~もう一つの映画黄金期~



主催: 松竹株式会社、特定非営利活動法人東京フィルメックス実行委員会

11月21日土—11月29日日

会場: 東劇

料金: 1,000円均一

お問い合わせ:

東京フィルメックス Info. 03-3560-6394

東京フィルメックス ホームページ: <http://www.filmex.net/>

無声映画からトーキーへ——1930年代松竹作品の上映を通して日本のモダニズムを回顧する特集。あわせて、11月29日(日)に生誕百年を迎える田中絹代の主演作8本(下記)を上映します。

『マダムと女房』(1931年、五所平之助監督)

『東京の女』(1933年、小津安二郎監督)

『春琴抄 お琴と佐助』

(1935年、島津保次郎監督)

『人生のお荷物』

(1935年、五所平之助監督)

『お加代の覚悟』

(1936年、島津保次郎監督)

『愛染かつら』新版総集篇

(1938年、野村浩将監督)

『おぼろ駕籠』(1951年、伊藤大輔監督)

『西鶴一代女』(1952年、溝口健二監督)

●タイムテーブルなど詳細は当該チラシ、東京フィルメックスのホームページをご覧ください。

●上記作品は『西鶴一代女』を除き、フィルムセンターの「生誕百年 映画女優 田中絹代」では上映しません。



写真提供:芸游会



東劇 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル3F

TEL: 03-3541-2711

東京メトロ日比谷線「東銀座」駅を下車、徒歩1分
地下鉄都営浅草線「東銀座」駅を下車、徒歩3分

[常設展] 企画展に併設

展覧会 映画遺産

—東京国立近代美術館フィルムセンター・コレクションより—

The Japanese Film Heritage

—From the Non-film Collection of the National Film Center—

*月曜日は休室

開室時間=午前11時—午後6時30分

(入場は午後6時まで)

料金(企画展・常設展共通)=一般200円(100円)／大学生・シニア70円(40円)／高校生以下及び18歳未満・障害者(付添者は原則1名まで)、MOMATバスポートをお持ちの方、キャンバスメンバーズは無料

*()内は20名以上の団体料金です。

*学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は、証明できるものをご提示下さい。

*フィルムセノーラーが主催する上映会をご覧になった方は当日に限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。

生誕百年 映画女優 田中絹代(2)

Film Actress Kinuyo Tanaka at her Centenary [Part 2]

■作品により開映時間が異なりますのでご注意ください。

図書室カレンダー

赤字は休室日

12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2階受付では、「NFCニュースレター」(隔月刊)を販売しています。これは、フィルムセンターのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルム・アーカイブやシネママークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用下さい。

東京国立近代美術館フィルムセンターは、国際フィルム・アーカイブ連盟（FIAF）の正会員です。FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつける国際団体です。



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼本通

▼交通：東京外環銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分

都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分

東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分

JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ：ハローダイヤル03-5777-8600

NFCホームページ

<http://www.momat.go.jp/>

